

教科	社会	単元名	アジア州
----	----	-----	------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

A-STEP 4, C-STEP 4
F-STEP 4, G-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・アジア州に暮らす人々の生活をもとに、アジア州の地域的特色を大観し理解できる。
- ・アジア州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。(学校図書館等の活用でつきたい力)
- ・自ら調べたいことや知りたいことを解決するために、その考えの根拠として必要な複数の資料を活用し、自分の意見を表現できる。

単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1時	アジア州の自然環境 アジア州の気候の特徴について、季節風の影響と関連付けながら考察し、表現する。
第2時	アジア州の農業・文化と経済発展 アジア州の農業や宗教、人口分布の特徴を理解し、降水量と農業との関係や、農業と人口分布との関連について考察する。
第3時	経済成長を急速に遂げた中国 (本時) (☆) 中国の急速な経済成長に伴って進行する経済格差や環境問題などの課題について考察し、表現する。
第4時	最も近い隣国、韓国 韓国の生活・文化や産業の発展について、韓国と日本との関わりに着目しながら考察し、表現する。
第5時	経済発展を目指す東南アジア 東南アジアの国々において、急速に経済発展する過程で発生している問題について考察する。
第6時	産業発展と人口増加が急速に進む南アジア 南アジアの経済発展の様子を理解し、人口増加の続くインドで情報通信技術(ICT)産業が成長した背景と貧困層の問題について、考察する。
第7時	資源が豊富な中央アジア・西アジア 中央アジアや西アジアの国々は原油などの鉱産資源に恵まれ経済発展してきたことを理解し、紛争が多いことの背景を、原油と関連させて考察する。
第8時	これまでの学習を生かし、アジア州の課題解決について考察 (☆) アジアの国から1つ選び、学校図書館を活用してその国の経済発展について調べ、それに伴う社会の変化と予想される課題について、前時までに学習した内容を生かして考察する。

本時のねらい

- ・中国では、急速な経済成長によって、社会にどのような変化と課題が生じているか説明できる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (10分)	1. 前時のふりかえり・本時の目標と学習内容の確認 ・前回の授業で学習した「世界高層ビルランキング」を振り返る。 — 班隊形 — ・地図帳を参照し、「中国の上海、深圳、広州、北京」の場所をプリントで確認する。 ・「中国の1人あたりの地域別生産額」の資料をみて、経済発展するにあたって、どのような問題が出てくるか、沿岸部と内陸部を比較し、生徒自ら課題を発見する。	・「世界高層ビルランキング top10」に中国のビルが多いことに気づく。 ・中国の栄えているところが沿岸部に多いことに気づき、内陸部がどうなっているかと疑問をもつ。
展開 (37分)	2. 個人→班 読み取る→交流する→表現する (プリント記入・発表) ・中国の社会変化について教科書を読み取り、ワークシート上で整理する。(5分) ・中国が経済発展していった理由を確認する。(5分) ・中国で経済成長が進む一方で、出てくる課題について資料や教科書を参考に、個人で考える。(10分) ・自身の考えを班員に説明する。班で考えを比較し、それぞれが考えを深める。(17分)	・教科書や資料で読み取ったことを言語化し、自分なりにまとめる。 文書や図表などから様々な情報を的確に読み取り、それを用いて、どのような変化や課題が生じているか説明する。
まとめ (3分)	3. まとめ ・中国では、急速な経済成長によって、社会にどのような変化と課題が生じているかをまとめる。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・基本的に毎時間、本時の目標を「説明できる」等、まとめの活動を設定している。毎時間、教科書から重要語句や文章を探して、ワークシートに記入し、教科書を読みとる時間を確保している。
- ・アジア州では、単元のまとめとして、アジア州から一つの国を選び、「経済発展」という視点から、ICTや学校図書館資料を活用して、調べ、まとめる言語活動を行った。



アジア州から一つの国を選び、多角的に考察する。